

平成20年度P R T Rデータ集計結果（宮城県概要）

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）に基づき、平成21年度に宮城県内（仙台市を含む）の事業者から届出があった平成20年度の化学物質の排出量等の集計結果についてお知らせします。

1 対象年度等

- (1) 対象年度 平成20年度（平成20年4月1日～平成21年3月31日）
- (2) 届出期間 平成21年4月1日～平成21年6月30日

2 集計結果の概要

(1) 届出状況

宮城県内の42業種831の事業所から「平成20年度の化学物質の排出量・移動量」について届出がありました。（表1，表2）

業種別にみると燃料小売業が464事業所（県内の届出事業所の55.8%）で最も多く、次いで製造業の174事業所（同20.9%）の順でした。

届出のあった化学物質は、第一種指定化学物質354物質のうち107物質でした。

表1 都道府県別の届出状況（平成20年度排出・移動）

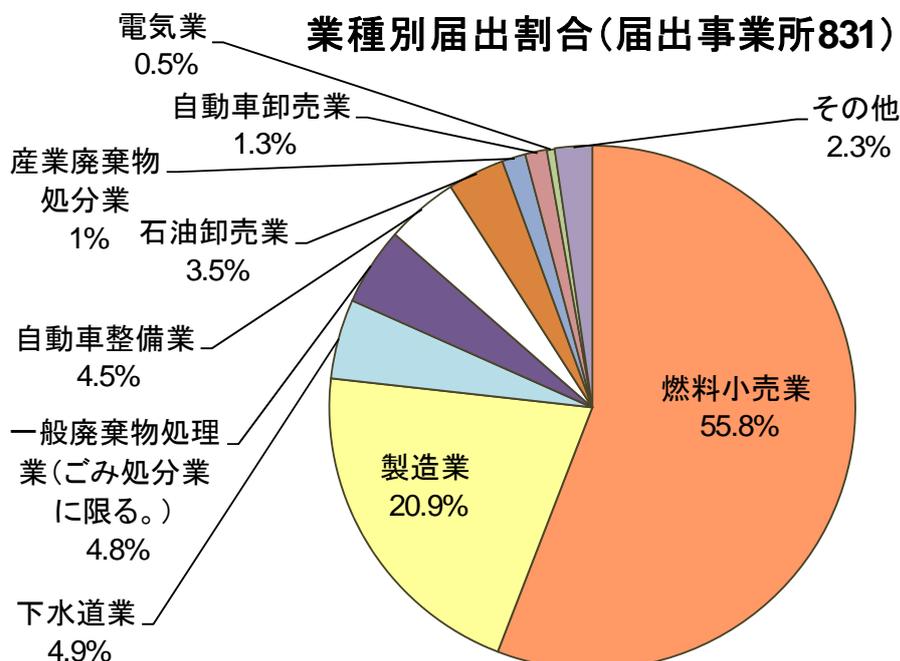
（単位：事業所）

都道府県	届出事業所数	届出物質種類数	都道府県	届出事業所数	届出物質種類数	都道府県	届出事業所数	届出物質種類数
北海道	1,931	133	石川県	529	110	岡山県	935	172
青森県	459	77	福井県	414	138	広島県	985	175
岩手県	548	80	山梨県	371	72	山口県	595	199
宮城県	831	107	長野県	1,324	112	徳島県	310	102
秋田県	536	77	岐阜県	988	128	香川県	433	92
山形県	606	104	静岡県	1,605	166	愛媛県	521	131
福島県	1,089	198	愛知県	2,340	165	高知県	187	46
茨城県	1,186	190	三重県	851	163	福岡県	1,367	145
栃木県	781	129	滋賀県	636	137	佐賀県	353	105
群馬県	861	130	京都府	645	129	長崎県	346	52
埼玉県	1,681	186	大阪府	1,896	178	熊本県	619	104
千葉県	1,413	179	兵庫県	1,762	193	大分県	419	111
東京都	1,438	104	奈良県	352	92	宮崎県	355	95
神奈川県	1,659	172	和歌山県	333	132	鹿児島県	491	82
新潟県	1,062	152	鳥取県	299	48	沖縄県	224	57
富山県	601	121	島根県	305	73	合計	39,472	326

表2 宮城県の業種別届出状況（把握年度：平成20年度）

業種名	届出数	業種名	届出数
1. 金属鉱業	0	4. 電気業	4
2. 原油・天然ガス鉱業	0	5. ガス業	1
3. 製造業	174	6. 熱供給業	0
食料品製造業	(7)	7. 下水道業	41
飲料・たばこ・飼料製造業(以下を除く。)	(1)	8. 鉄道業	3
酒類製造業	(1)	9. 倉庫業	3
たばこ製造業	(0)	10. 石油卸売業	29
繊維工業	(0)	11. 鉄スクラップ卸売業	1
衣服・その他の繊維製品製造業	(0)	12. 自動車卸売業	11
木材・木製品製造業(家具を除く。)	(6)	13. 燃料小売業	464
家具・装備品製造業	(2)	14. 洗濯業	3
パルプ・紙・紙加工品製造業	(6)	15. 写真業	0
出版・印刷・同関連産業	(13)	16. 自動車整備業	37
化学工業(以下を除く。)	(20)	17. 機械修理業	2
塩製造業	(0)	18. 商品検査業	1
医薬品製造業	(2)	19. 計量証明業	0
農薬製造業	(1)	20. 一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	40
石油製品・石炭製品製造業	(3)	産業廃棄物処分業	12
プラスチック製品製造業	(9)	21. 特別管理産業廃棄物処分業	0
ゴム製品製造業	(6)	22. 高等教育機関	3
なめし革・同製品・毛皮製造業	(1)	23. 自然科学研究所	2
窯業・土石製品製造業	(8)		
鉄鋼業	(4)	合 計	831
非鉄金属製造業	(8)		
金属製品製造業	(22)		
一般機械器具製造業	(6)		
電気機械器具製造業(以下を除く。)	(34)		
電子応用装置製造業	(0)		
電気計測器製造業	(0)		
輸送用機械器具製造業(以下を除く。)	(7)		
鉄道車両・同部分品製造業	(0)		
船舶製造・修理業、船用機関製造業	(2)		
精密機械器具製造業(以下を除く。)	(3)		
医療用機械器具・医療用品製造業	(0)		
武器製造業	(0)		
その他の製造業	(2)		

注：()内の数値は再掲。



(2) 排出量及び移動量の概要

事業所から届出のあった平成20年度の環境への排出量の合計は1,626トンで全国の総量199千トンの0.8%でした。移動量の合計は1,439トンで全国の総量の201千トンの0.7%でした。また、排出量と移動量の合計は3,065トンで全国の総量400千トンの0.8%でした。(表3)

届出・排出量の合計は全国で36位でした。

表3 都道府県別の排出量・移動量(把握年度:平成20年度)

順位	都道府県名	届出数	排出量(kg/年)					移動量(kg/年)			排出・移動量合計(kg/年)
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	下水道	廃棄物	合計	
1	愛知県	2,340	13,470,188	478,309	3	1,730	13,950,230	55,655	15,127,332	15,182,987	29,133,217
2	兵庫県	1,762	7,971,753	385,327	0	212,154	8,569,234	45,623	14,382,324	14,427,946	22,997,180
3	千葉県	1,413	7,467,212	370,893	8	0	7,838,113	2,176	11,848,369	11,850,545	19,688,658
4	神奈川県	1,659	7,597,595	329,015	0	0	7,926,610	98,395	11,462,021	11,560,415	19,487,026
5	静岡県	1,605	12,983,536	224,513	2	279	13,208,329	15,060	6,052,878	6,067,938	19,276,267
6	茨城県	1,186	8,717,859	146,403	0	1,934	8,866,196	342,949	8,759,399	9,102,348	17,968,544
7	埼玉県	1,681	9,016,560	257,426	0	0	9,273,986	81,135	8,185,696	8,266,830	17,540,817
8	三重県	851	6,090,443	269,628	1	0	6,360,072	1,267	9,992,023	9,993,290	16,353,362
9	広島県	985	7,091,583	227,544	106	2,997,586	10,316,819	12,862	5,675,105	5,687,967	16,004,786
10	大阪府	1,896	5,162,871	607,216	29	0	5,770,115	144,729	8,817,508	8,962,238	14,732,353
11	山口県	595	4,420,254	789,736	68	0	5,210,057	1,876	9,266,273	9,268,149	14,478,206
12	福島県	1,089	4,976,295	987,760	0	3,900	5,967,956	649	8,114,590	8,115,239	14,083,195
13	岡山県	935	5,379,109	220,392	0	0	5,599,502	15,353	8,176,721	8,192,074	13,791,576
14	福岡県	1,367	6,189,900	271,919	0	0	6,461,818	16,869	6,411,495	6,428,364	12,890,182
15	愛媛県	521	5,118,426	239,459	0	0	5,357,885	150	6,633,240	6,633,390	11,991,274
16	岐阜県	988	6,133,616	89,580	0	617,064	6,840,261	34,027	3,421,383	3,455,410	10,295,671
17	栃木県	781	6,275,359	67,181	0	0	6,342,539	8,636	3,273,900	3,282,536	9,625,075
18	滋賀県	636	4,021,669	30,807	16	0	4,052,492	28,383	5,526,342	5,554,725	9,607,217
19	群馬県	861	4,720,218	111,605	58	0	4,831,881	41,356	3,995,296	4,036,652	8,868,533
20	香川県	433	5,727,990	46,865	3	1,100	5,775,959	3,365	1,621,090	1,624,454	7,400,413
21	富山県	601	2,064,800	201,930	0	0	2,266,730	2,264	4,711,406	4,713,670	6,980,399
22	福井県	414	2,207,280	315,512	0	0	2,522,792	73,487	3,947,200	4,020,687	6,543,479
23	和歌山県	333	1,654,153	43,760	0	0	1,697,913	2,866	4,408,058	4,410,924	6,108,837
24	新潟県	1,062	3,200,634	505,520	805	384,500	4,091,459	5,882	1,715,317	1,721,200	5,812,658
25	宮崎県	355	331,701	113,215	67	3,500,000	3,944,983	1,015	1,814,415	1,815,430	5,760,413
26	大分県	419	1,169,564	78,884	160	0	1,248,608	949	4,059,754	4,060,703	5,309,310
27	東京都	1,438	1,760,153	625,992	35	0	2,386,180	50,292	2,810,586	2,860,878	5,247,058
28	京都府	645	2,973,098	157,011	0	0	3,130,108	119,656	1,834,501	1,954,157	5,084,265
29	石川県	529	2,670,426	111,395	0	0	2,781,821	195,805	1,284,342	1,480,147	4,261,968
30	秋田県	536	762,773	84,618	0	1,985,140	2,832,531	10	1,309,035	1,309,045	4,141,576
31	熊本県	619	2,275,021	121,248	0	0	2,396,270	5,188	1,263,052	1,268,240	3,664,509
32	長野県	1,324	1,958,579	112,622	35	0	2,071,235	9,635	1,499,303	1,508,937	3,580,172
33	長崎県	346	3,059,089	43,254	155	0	3,102,498	8,806	461,511	470,317	3,572,815
34	岩手県	548	2,202,405	60,876	43	0	2,263,324	21,640	1,191,377	1,213,018	3,476,341
35	北海道	1,931	1,770,224	357,489	110,013	51,082	2,288,808	12,022	1,108,005	1,120,027	3,408,835
36	宮城県	831	1,259,759	93,616	14	272,516	1,625,905	11,674	1,427,742	1,439,415	3,065,320
37	島根県	305	1,866,730	114,454	0	37,812	2,018,995	112	785,668	785,780	2,804,776
38	佐賀県	353	1,732,868	22,677	0	0	1,755,545	520	809,491	810,011	2,565,556
39	山梨県	371	1,594,566	30,938	0	0	1,625,504	6,097	889,867	895,964	2,521,467
40	徳島県	310	574,438	39,409	0	0	613,848	87	1,731,883	1,731,970	2,345,818
41	山形県	606	775,104	39,436	4	0	814,544	6,751	1,499,014	1,505,765	2,320,309
42	奈良県	352	854,058	12,724	0	0	866,782	11,492	580,044	591,536	1,458,318
43	青森県	459	344,828	110,796	118,701	1	574,325	92	482,358	482,450	1,056,775
44	鳥取県	299	600,525	5,120	0	0	605,645	4,150	284,794	288,944	894,589
45	高知県	187	436,451	20,798	60	0	457,309	4,279	340,392	344,671	801,979
46	鹿児島県	491	275,981	128,562	200	0	404,743	534	198,816	199,350	604,093
47	沖縄県	224	124,784	11,395	150,000	0	286,180	0	116,945	116,945	403,125

備考 1 大気:大気への排出, 水域:公共用水域への排出, 土壌:事業所内の土壌への排出, 埋立:事業所内の埋立処分

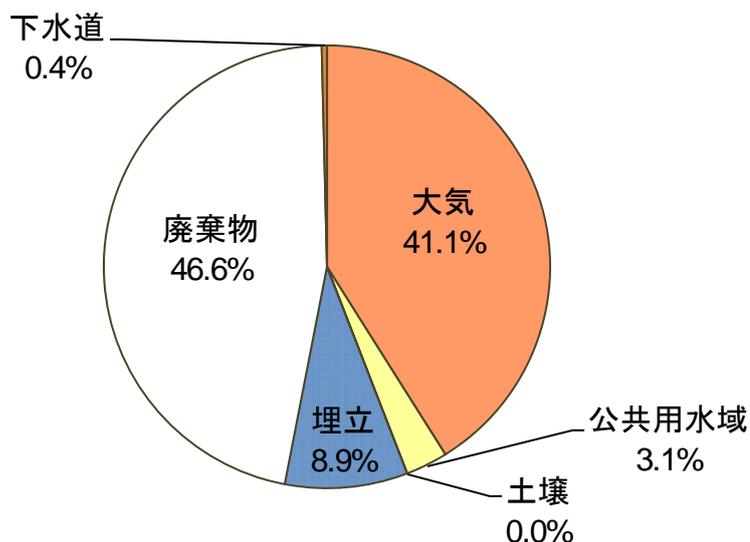
2 下水道:下水道への移動, 廃棄物:事業所外への廃棄物としての移動

3 各数値は,各事業所から届け出られた当該データの合計について小数点第一位で四捨五入し,整数表示したもの。

本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。

環境への排出量1,626トン(総排出量・移動量の53.0%)は、大気への排出が1,260トン(41.1%)、公共用水域への排出が94トン(3.1%)、土壌への排出が0.01トン(0.0%)、事業所内埋立が273トン(8.9%)でした。また、移動量1,439トン(総排出量・移動量の47.0%)は、廃棄物としての移動が1,428トン(46.6%)、下水道への移動が12トン(0.4%)でした。(図1)

図1 宮城県の総排出量・移動量（合計 3,065t/年）



(3) 排出量の多い物質

宮城県で届出排出量の多い上位物質は表4のとおりであり、排出先別では表5から表8のとおりでした。

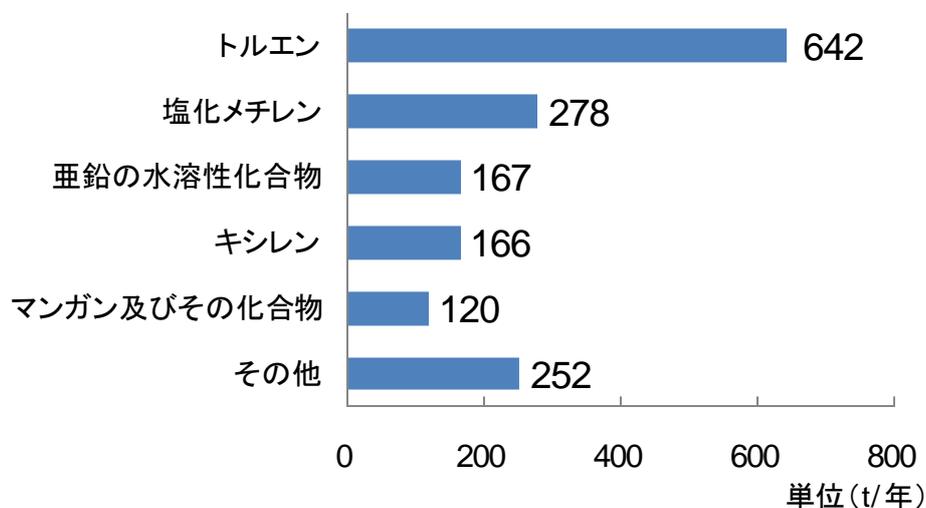
<届出排出量合計>

環境への排出量の上位5物質の合計は1,374トンで、総排出量1,626トンの85%に当たります。（表4）

表4 環境への届出排出量合計上位5物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
排出量 合計	227	トルエン	合成原料, ガソリン成分	641,858	39%
	145	塩化メチレン	金属洗浄剤	278,275	17%
	1	亜鉛の水溶性化合物	乾電池の電解液	167,435	10%
	63	キシレン	合成原料, ガソリン, 灯油成分	166,499	10%
	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼, 電池	119,998	7%
		その他		251,840	15%
		合計			1,625,905

届出排出量合計 1,626 t/年



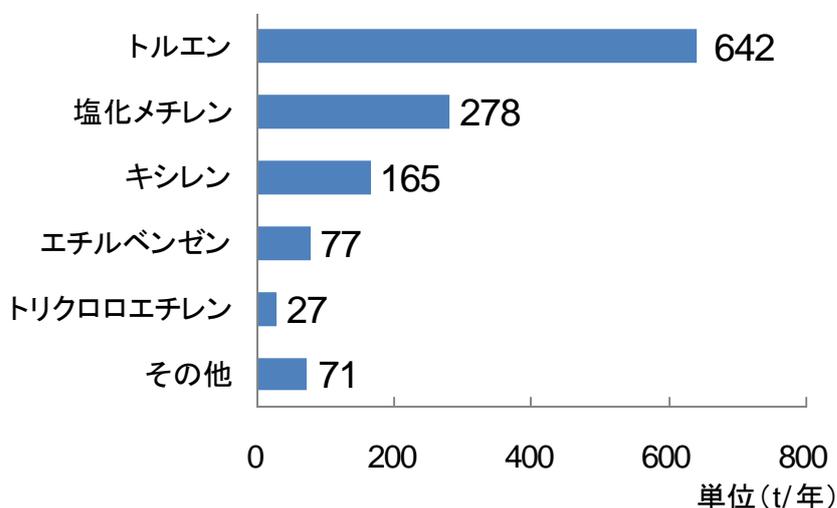
<大気への排出量>

大気への排出量の上位5物質の合計は1,189トンで大気への総排出量1,260トンの94%に当たります。トルエン、塩化メチレン、キシレン等の物質は、溶剤、洗浄剤等として使用されており、揮発性が高い物質であるため、大気への排出が多くなっています。(表5)

表5 大気への届出排出量の上位5物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
大気への 排出	227	トルエン	合成原料, ガソリン成分	641,858	51%
	145	塩化メチレン	金属洗浄剤	278,238	22%
	63	キシレン	合成原料, ガソリン, 灯油成分	164,999	13%
	40	エチルベンゼン	ガソリン成分, 溶剤	76,866	6%
	211	トリクロロエチレン	溶剤, 洗浄剤	27,100	2%
		その他		70,698	6%
	合 計			1,259,759	100%

大気への排出量 1,260 t/年



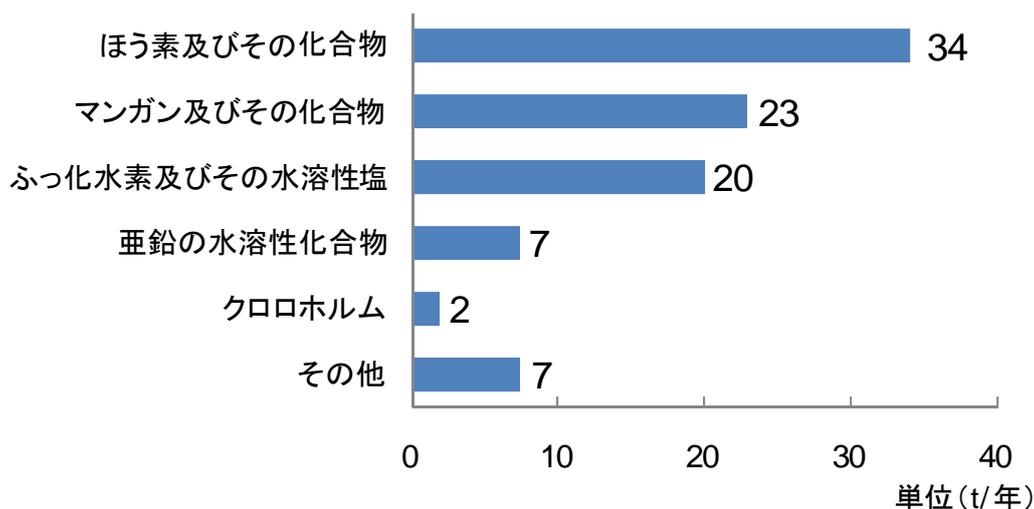
<公共用水域への排出量>

公共用水域への排出量の上位5物質の合計は86トンで、公共用水域への総排出量94トンの92%にあたります。(表6)

表6 公共用水域への届出排出量上位5物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
公共用 水域への 排出	304	ほう素及びその化合物	ガラス添加剤, 脱酸素剤, 電子材料	34,027	36%
	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼, 電池	22,939	25%
	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	合成原料, 金属・ガラスの表面処理	19,996	21%
	1	亜鉛の水溶性化合物	乾電池の電解液	7,379	8%
	95	クロロホルム	冷媒, 有機合成原料, 消毒剤	1,900	2%
		その他		7,375	8%
	合 計			93,616	100%

公共用水域への排出量 94t/年



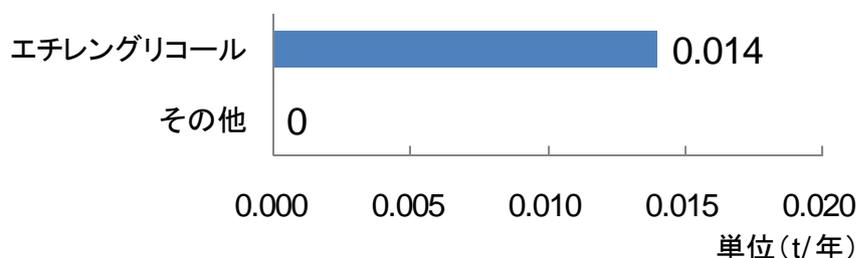
< 土壌への排出量 >

土壌への排出量0.014トンは、全てエチレングリコールです。(表7)

表7 土壌への届出排出物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
土壌への 排出	43	エチレングリコール	ポリエステル繊維, 樹脂原料	14	100%
		その他		0	0%
	合計			14	100%

事業所内の土壌への排出量 0.014t/年



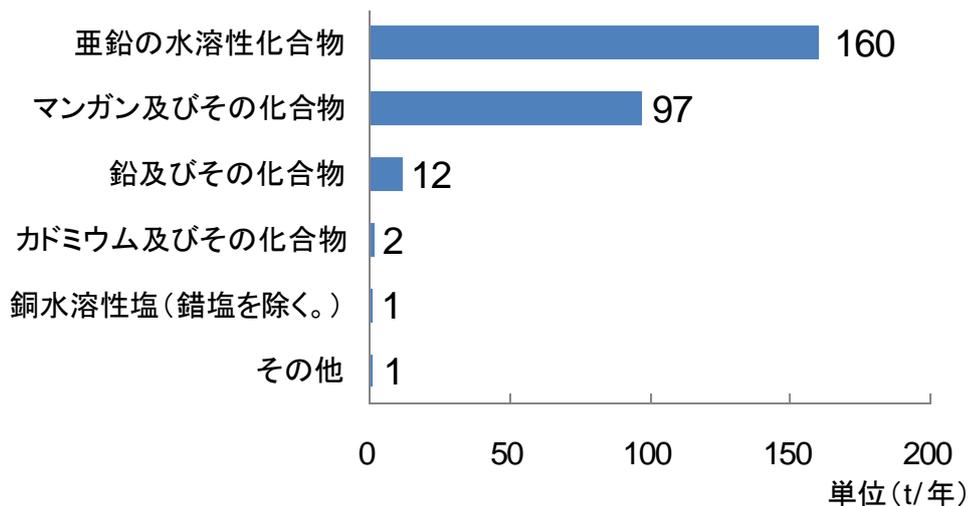
< 事業所敷地内への埋立処分 >

事業所敷地内における埋立処分量の上位5物質の合計は272トンで、総埋立処分量273トンのほぼ全量にあたります。(表8)

表8 事業所内埋立処分届出排出量上位5物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
事業所 敷地内の 埋立処分	1	亜鉛の水溶性化合物	乾電池の電解液	160,000	59%
	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼, 電池	97,000	36%
	230	鉛及びその化合物	被覆材, 塗料・顔料, 印刷インキ, 化成剤	12,000	4%
	60	カドミウム及びその化合物	塗料・顔料, めっき液, 粘着テープ原料	1,600	1%
	207	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	農薬, 繊維, 顔料, 触媒	940	0%
		その他		976	0%
合計				272,516	100%

事業所敷地内での埋立処分量 273t/年



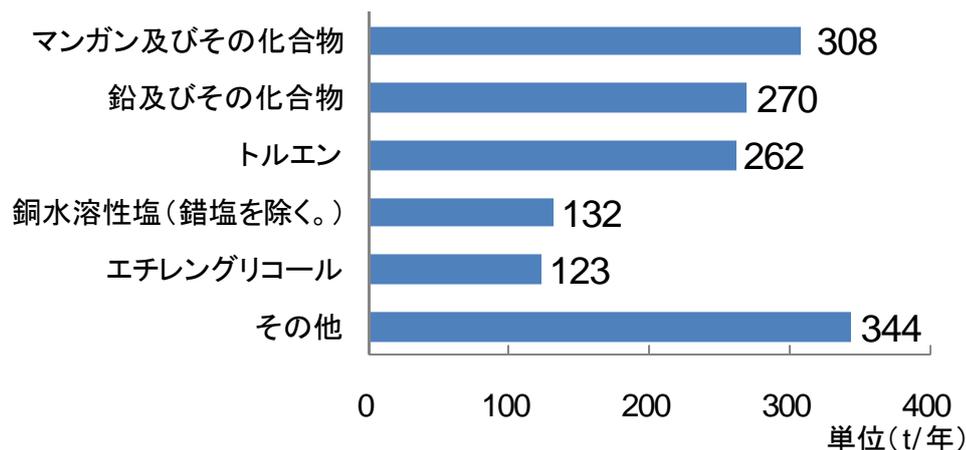
(4) 移動量の多い物質

移動量の上位5物質の合計は、1,096トンで総移動量1,439トンの76%にあたります。(表9)

表9 届出移動量合計上位5物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
移動量 合計	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼, 電池	308,430	21%
	230	鉛及びその化合物	被覆材, 塗料・顔料, 印刷インキ, 化成剤	269,769	19%
	227	トルエン	合成原料, ガソリン成分	262,396	18%
	207	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	農薬, 繊維, 顔料, 触媒	132,023	9%
	43	エチレングリコール	ポリエステル繊維, 樹脂原料	122,966	9%
		その他		343,831	24%
		合計			1,439,415

届出移動量合計 1,439t/年



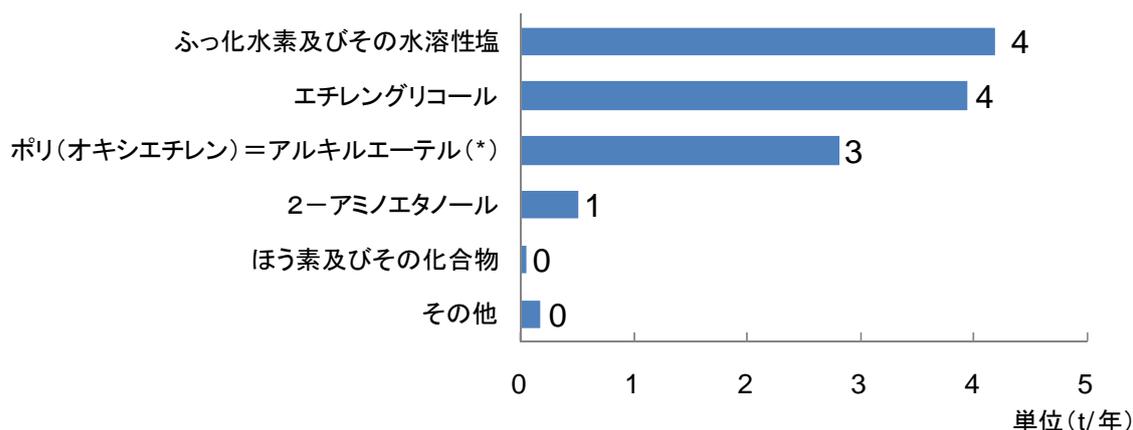
<下水道への移動量>

下水道への移動量上位5物質の合計は、12トンで、下水道への総移動量12トンのほぼ全量にあたります。(表10)

表 10 下水道への移動量上位 5 物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
公共 下水道 への移動	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	合成原料, 金属・ガラスの表面処理	4,193	36%
	43	エチレングリコール	ポリエステル繊維, 樹脂原料	3,939	34%
	307	ポリ(オキシエチレン)＝アルキル エーテル(アルキル基の炭素数が 12から15までのもの及びその混 合物に限る。)	台所用洗剤の界面活性剤	2,809	24%
	16	2-アミノエタノール	pH調整剤, 防かび剤	510	4%
	304	ほう素及びその化合物	ガラス添加剤, 脱酸素剤, 電子材料	50	0%
		その他		173	1%
		合 計		11,674	100%

下水道への移動 12t/年



(*)アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。

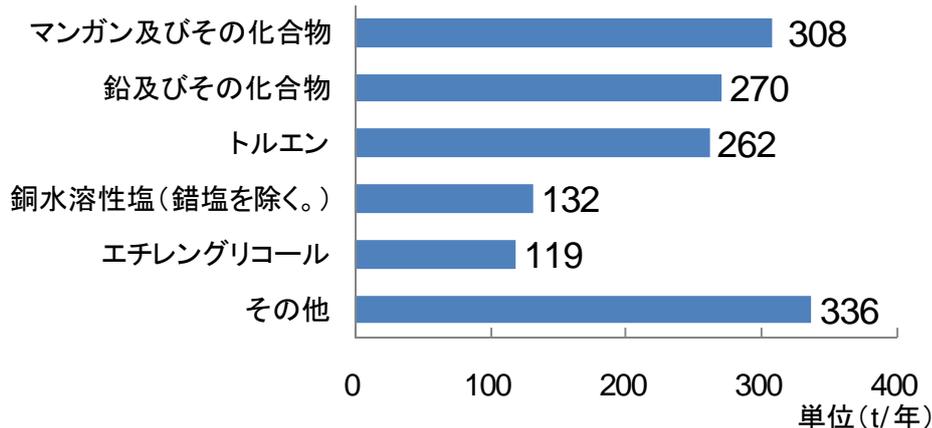
<廃棄物としての移動量>

廃棄物への移動量の上位 5 物質の合計は、1,092トンで、廃棄物への総移動量1,428トンの76%にあたります。(表11)

表 11 廃棄物としての移動量上位 5 物質

排出区分 (媒体)	対象化学物質		主な用途	排出量 (kg/年)	構成比
	物質 番号	物質名			
事業所の 外への 移動	311	マンガン及びその化合物	特殊鋼, 電池	308,430	22%
	230	鉛及びその化合物	被覆材, 塗料・顔料, 印刷インキ, 化成剤	269,768	19%
	227	トルエン	合成原料, ガソリン成分	262,396	18%
	207	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	農薬, 繊維, 顔料, 触媒	132,020	9%
	43	エチレングリコール	ポリエステル繊維, 樹脂原料	119,027	8%
		その他		336,101	24%
	合 計			1,427,742	100%

廃棄物としての移動 1,428t/年



(5) 排出量及び移動量の多い業種

排出量と移動量の合計は、3,065トンです。このうち、排出量・移動量上位10業種の合計は2,555トンであり、総排出量・移動量の83%にあたります。

上位10業種は、鉄鋼業604トン（20%）、電気機械器具製造業451トン（15%）、出版・印刷・同関連産業338トン（11%）、非鉄金属製造業326トン（11%）、船舶製造・修理業、船用機関製造業205トン（7%）、金属製品製造業181トン（6%）、プラスチック製品製造業169トン（5%）、木材・木製品製造業148トン（5%）、ゴム製品製造業70トン（2%）、下水道業64トン（2%）の順となっています。（表12、図2）

表 12 届出排出・移動量合計上位 10 物質

順位	業種コード	業種名	排出・移動量合計	構成比
1	2600	鉄鋼業	604,388	20%
2	3000	電気機械器具製造業	450,977	15%
3	1900	出版・印刷・同関連産業	338,203	11%
4	2700	非鉄金属製造業	325,718	11%
5	3140	船舶製造・修理業、船用機関製造業	204,671	7%
6	2800	金属製品製造業	181,372	6%
7	2200	プラスチック製品製造業	168,561	5%
8	1600	木材・木製品製造業	147,555	5%
9	2300	ゴム製品製造業	69,533	2%
10	3830	下水道業	64,429	2%
		その他	509,913	17%
上位10業種合計			2,555,407	83%
総排出量・移動量			3,065,320	100%

表 13 宮城県の排出量及び移動量（ダイオキシン類を除く。）（把握年度：平成 20 年度）

（単位：kg/年）

物質番号	対象化学物質	物質名	排出量					移動量			排出・移動量合計
			大気	水域	土壌	埋立	合計	下水道	廃棄物	合計	
1	1	亜鉛の水溶性化合物	56	7,379	0	160,000	167,435	6	42,001	42,007	209,443
2	2	アクリルアミド	1	1	0	0	1	0	2	2	3
3	3	アクリル酸	1	0	0	0	1	0	5	5	6
4	4	アクリル酸エチル	29	0	0	0	29	0	0	0	29
5	7	アクリロニトリル	0	0	0	0	0	0	6	6	7
6	9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	0	0	0	0	0	0	350	350	350
7	16	2-アミノエタノール	340	0	0	0	340	510	9,200	9,710	10,050
8	24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	6	0	0	0	6	2	2	5	10
9	25	アンチモン及びその化合物	4	0	0	0	4	0	191	191	195
10	26	石綿	0	0	0	0	0	0	12,700	12,700	12,700
11	30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状のものに限る。)	171	0	0	0	171	0	15,221	15,221	15,392
12	36	ブタミホス	0	0	0	0	0	0	3	3	3
13	37	EPN	0	314	0	0	314	0	0	0	314
14	40	エチルベンゼン	76,866	0	0	0	76,866	0	9,910	9,910	86,776
15	43	エチレングリコール	473	255	14	0	742	3,939	119,027	122,966	123,708
16	44	エチレングリコールモノエチルエーテル	3	0	0	0	3	0	19	19	22
17	45	エチレングリコールモノメチルエーテル	3	0	0	0	3	0	0	0	3
18	46	エチレンジアミン	29	0	0	0	29	44	1,000	1,044	1,073
19	50	マンコゼブ	0	0	0	0	0	0	41	41	41
20	54	エピクロロヒドリン	0	0	0	0	0	0	2	2	2
21	59	p-オクチルフェノール	0	0	0	0	0	0	190	190	190
22	60	カドミウム及びその化合物	1	41	0	1,600	1,642	0	0	0	1,642
23	61	ε-カプロラクタム	0	0	0	0	0	0	1	1	1
24	63	キシレン	164,999	1,500	0	0	166,499	1	32,643	32,644	199,143
25	64	銀及びその水溶性化合物	0	0	0	0	0	10	99	109	109
26	66	グルタルアルデヒド	0	0	0	0	0	3	54	57	57
27	67	クレゾール	180	0	0	0	180	0	1,938	1,938	2,118
28	68	クロム及び三価クロム化合物	1	666	0	0	666	0	38,159	38,159	38,825
29	69	六価クロム化合物	0	216	0	0	216	5	2,548	2,553	2,769
30	81	プレチラクロール	0	0	0	0	0	0	23	23	23

(単位: kg/年)

	対象化学物質		排出量					移動量			排出・移動量 合計
	物質 番号	物質名	大気	水域	土壌	埋立	合計	下水道	廃棄物	合計	
31	85	HCFC-22	4,200	0	0	0	4,200	0	1,000	1,000	5,200
32	90	シマジン	0	7	0	0	7	0	0	0	7
33	95	クロロホルム	19,110	1,900	0	0	21,010	0	6,800	6,800	27,810
34	100	コバルト及びその化合物	0	63	0	0	63	0	7,094	7,094	7,157
35	102	酢酸ビニル	200	0	0	0	200	0	6	6	206
36	105	フルバリネート	0	0	0	0	0	0	2	2	2
37	108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	29	476	0	0	505	2	339	341	846
38	110	チオベンカルブ	0	39	0	0	39	0	0	0	39
39	111	カフェンストロール	0	0	0	0	0	0	77	77	77
40	112	四塩化炭素	0	4	0	0	4	0	0	0	4
41	114	シクロヘキシルアミン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	0	0	0	0	0	0	8,780	8,780	8,780
43	116	1,2-ジクロロエタン	0	8	0	0	8	0	0	0	8
44	117	塩化ビニリデン	0	21	0	0	21	0	0	0	21
45	118	cis-1,2-ジクロロエチレン	0	31	0	0	31	0	0	0	31
46	132	HCFC-141b	600	0	0	0	600	0	0	0	600
47	137	D-D	0	6	0	0	6	0	0	0	6
48	139	o-ジクロロベンゼン	0	0	0	0	0	0	370	370	370
49	144	HCFC-225	10,700	0	0	0	10,700	0	450	450	11,150
50	145	塩化メチレン	278,238	37	0	0	278,275	0	16,693	16,693	294,968
51	166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	0	0	0	0	0	4	5	9	9
52	170	エスプロカルブ	0	0	0	0	0	0	18	18	18
53	172	N,N-ジメチルホルムアミド	145	1,300	0	0	1,445	0	2,300	2,300	3,745
54	175	水銀及びその化合物	0	2	0	3	5	0	0	0	5
55	176	有機スズ化合物	0	0	0	0	0	0	50	50	50
56	177	スチレン	6,425	0	0	0	6,425	0	12	12	6,437
57	178	セレン及びその化合物	0	175	0	88	263	0	24	24	287
58	193	フェンチオン	0	0	0	0	0	0	4	4	4
59	198	ヘキサメチレンテトラミン	0	0	0	0	0	0	62	62	62
60	199	クロロタロニル	0	0	0	0	0	0	6	6	6
61	200	テトラクロロエチレン	4,200	3	0	0	4,203	0	380	380	4,583
62	204	チウラム	0	14	0	0	14	0	230	230	244
63	207	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	0	1,504	0	940	2,444	3	132,020	132,023	134,467
64	209	1,1,1-トリクロロエタン	0	85	0	0	85	0	0	0	85
65	210	1,1,2-トリクロロエタン	0	11	0	0	11	0	0	0	10
66	211	トリクロロエチレン	27,100	10	0	0	27,110	0	3,300	3,300	30,410
67	223	3,5,5-トリメチル-1-ヘキサノール	0	0	0	0	0	0	49	49	49
68	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	300	0	0	0	300	0	698	698	999
69	227	トルエン	641,858	0	0	0	641,858	0	262,396	262,396	904,254
70	230	鉛及びその化合物	175	93	0	12,000	12,267	0	269,768	269,769	282,036
71	231	ニッケル	0	3	0	0	3	12	2,019	2,031	2,034
72	232	ニッケル化合物	0	171	0	0	171	22	8,346	8,369	8,540
73	239	p-ニトロフェノール	0	0	0	0	0	0	350	350	350
74	252	砒素及びその無機化合物	0	284	0	790	1,074	0	1,300	1,300	2,374
75	253	ヒドラジン	16	0	0	0	16	23	2,000	2,023	2,039
76	254	ヒドロキノ	0	0	0	0	0	0	570	570	570
77	258	ピペラジン	0	0	0	0	0	3	0	3	3
78	260	カテコール	1	14	0	0	15	0	2,700	2,700	2,715
79	266	フェノール	2,469	0	0	0	2,469	0	1,878	1,878	4,347
80	269	フタル酸ジ-n-オクチル	0	0	0	0	0	0	78	78	78
81	270	フタル酸ジ-n-ブチル	500	0	0	0	500	0	681	681	1,181
82	272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	36	0	0	0	36	0	41,330	41,330	41,366
83	273	フタル酸n-ブチル=ベンジル	0	0	0	0	0	0	8,820	8,820	8,820
84	276	ベノミル	0	0	0	0	0	0	2	2	2
85	277	シハロホップブチル	0	0	0	0	0	0	2	2	2
86	282	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	0	0	0	0	0	0	2,900	2,900	2,900
87	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	2,418	19,996	0	0	22,414	4,193	37,240	41,433	63,847
88	288	臭化メチル	4,000	0	0	0	4,000	0	0	0	4,000
89	293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	4	0	0	0	4	0	5	5	9
90	299	ベンゼン	13,137	21	0	0	13,159	0	0	0	13,159

(単位:kg/年)

	対象化学物質		排出量					移動量			排出・移動量 合計
	物質 番号	物質名	大気	水域	土壌	埋立	合計	下水道	廃棄物	合計	
91	301	メフェナセツ	0	0	0	0	0	0	26	26	26
92	304	ほう素及びその化合物	0	34,027	0	95	34,122	50	3,871	3,921	38,043
93	306	PCB	0	2	0	0	2	0	0	0	2
94	307	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	0	0	0	0	0	2,809	94	2,903	2,903
95	309	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル	1	0	0	0	1	32	182	214	215
96	310	ホルムアルデヒド	443	0	0	0	443	0	6,164	6,164	6,607
97	311	マンガン及びその化合物	59	22,939	0	97,000	119,998	0	308,430	308,430	428,427
98	313	無水マレイン酸	0	0	0	0	0	0	1	1	1
99	314	メタクリル酸	0	0	0	0	0	0	10	10	10
100	316	メタクリル酸2,3-エポキシプロピル	0	0	0	0	0	0	7	7	7
101	318	メタクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	7	0	0	0	7	0	31	31	37
102	319	メタクリル酸n-ブチル	0	0	0	0	0	0	2	2	2
103	320	メタクリル酸メチル	227	0	0	0	227	0	0	0	227
104	338	m-トリレンジイソシアネート	1	0	0	0	1	0	0	0	1
105	346	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	0	428	428	428
106	350	ジクロロボス	0	0	0	0	0	0	5	5	5
合 計			1,259,759	93,616	14	272,516	1,625,905	11,674	1,427,742	1,439,415	3,065,320

- 備考 1 大気:大気への排出, 水域:公共用水域への排出, 土壌:事業所内の土壌への排出, 埋立:事業所内の埋立処分
 2 下水道:下水道への移動, 廃棄物:事業所外への廃棄物としての移動
 3 各数値は,各事業所から届け出られた当該データの合計について小数点第一位で四捨五入し,整数表示したものである。
 本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。

表 14 宮城県のダイオキシン類の排出量及び移動量(把握年度:平成20年度)

(単位:mg-TEQ/年)

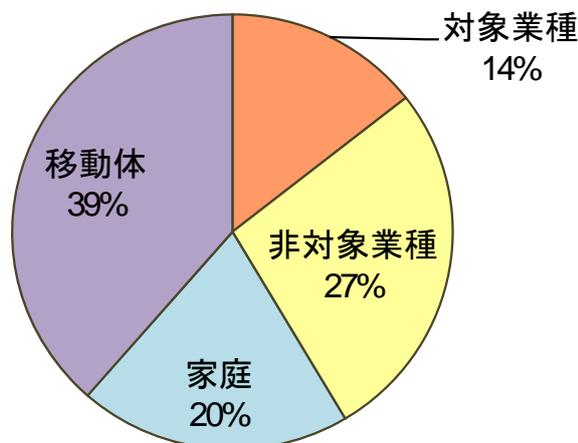
	対象化学物質		排出量					移動量			排出・移動量 合計
	物質 番号	物質名	大気	水域	土壌	埋立	合計	下水道	廃棄物	合計	
107	179	ダイオキシン類	2,399	58	0	3,570	6,028	0	94,275	94,275	100,303

備考 4 ダイオキシン類については,単位系が他の対象物質と異なるため,別に集計した。

3 届出外排出量の集計結果

経済産業省及び環境省が推計を行った宮城県内における届出外排出量の合計は4,732トンでした。宮城県は移動体からの排出量の割合が全国に比較して多く、非対象業種からの割合が少ない傾向にありました。

宮城県届出外排出量(合計 4,732 t/年)



対象業種:対象業種に属する事業を営む事業者の事業活動に伴って環境に排出されていると見込まれる量(届け出られたもの、移動体からのものを除く)

非対象業種:対象業種以外の業種に属する事業のみを営む事業者の事業活動に伴って環境に排出されていると見込まれる量(移動体からのものを除く)

4 経年比較（過去3年間との比較）

（1）排出量・移動量の推移

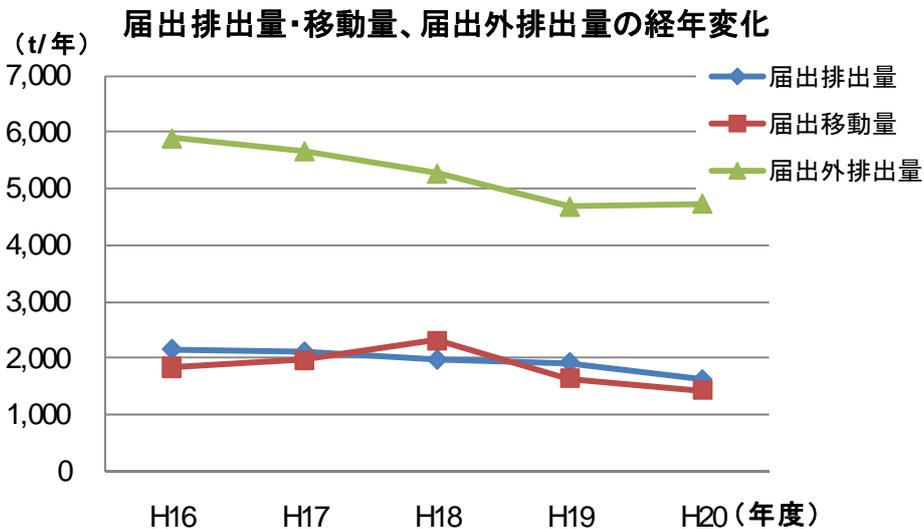
平成16年度から平成18年度まで届出事業所数は増加していましたが、平成19年度以降は減少しています。届出排出量は年々減少しています。届出移動量は平成16年度から平成18年度まで増加していましたが、平成19年度以降は減少しています。

また、届出外排出量は平成19年度まで減少していましたが、今年度は微増しました。

排出量・移動量の推移

（単位：t/年）

		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
排出事業所数(単位:事業所)		862	871	891	862	831
届出	排出量・移動量	4,000	4,079	4,289	3,564	3,065
	排出量	2,154	2,109	1,974	1,925	1,626
	排出量(大気へ)	1,806	1,673	1,527	1,447	1,260
	排出量(公共用水域へ)	72	47	64	95	94
	排出量(土壌へ)	0.050	0.021	0.015	0.015	0.014
	排出量(事業所内埋立)	276	389	383	383	273
	移動量	1,846	1,970	2,314	1,639	1,439
	移動量(下水道へ)	23	18	18	16	12
	移動量(廃棄物として)	1,823	1,952	2,296	1,623	1,428
届出外	排出量	5,890	5,663	5,265	4,676	4,732
	排出量(移動体)	2,549	2,493	2,213	1,946	1,823



(2) 物質ごとの比較

<届出排出量（大気への排出）の多い上位5物質>

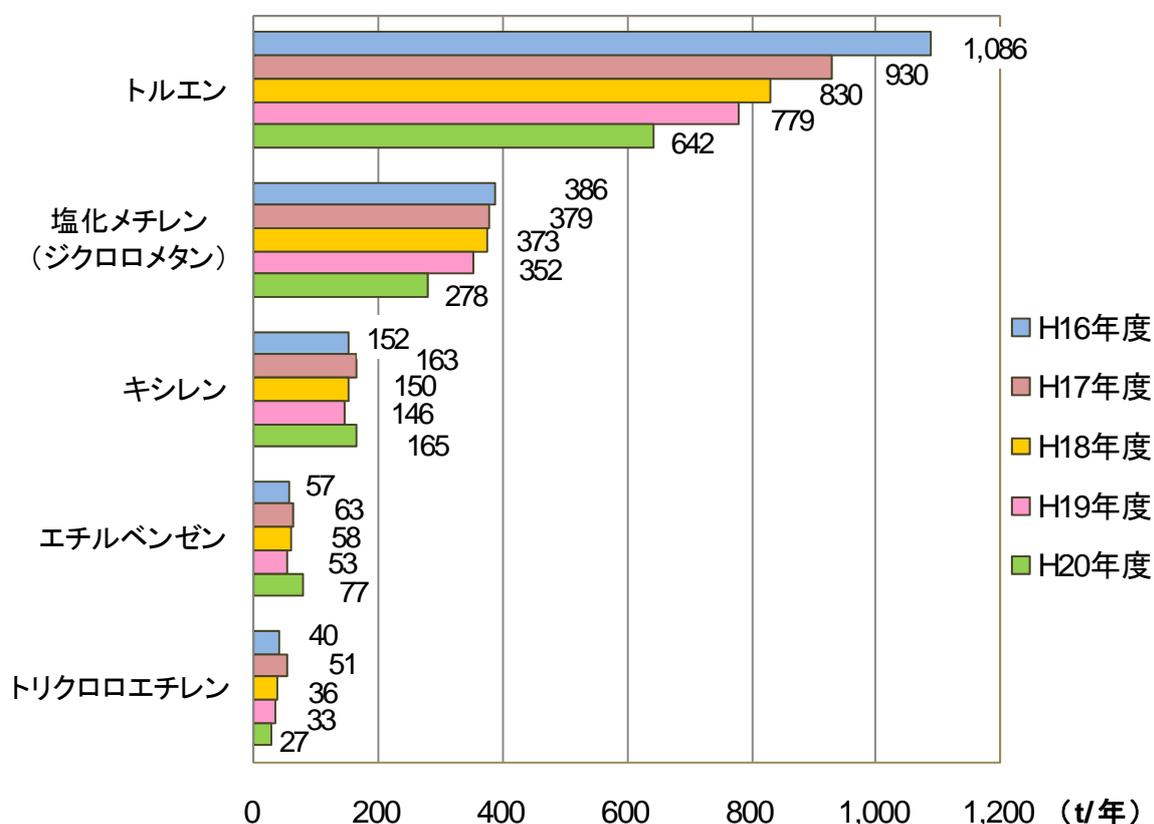
平成20年度の大気への排出の上位2物質のトルエンと塩化メチレンについては年々減少していますが、その他の物質については増減しています。

届出排出量（大気への排出）の多い上位5物質

(単位:t/年)

H20 順位	物質名	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
1	トルエン	1,086	930	830	779	642
2	塩化メチレン (ジクロロメタン)	386	379	373	352	278
3	キシレン	152	163	150	146	165
4	エチルベンゼン	57	63	58	53	77
5	トリクロロエチレン	40	51	36	33	27

届出排出量（大気）の上位5物質の比較



<届出排出量（公共用水域への排出）の多い上位5 物質>

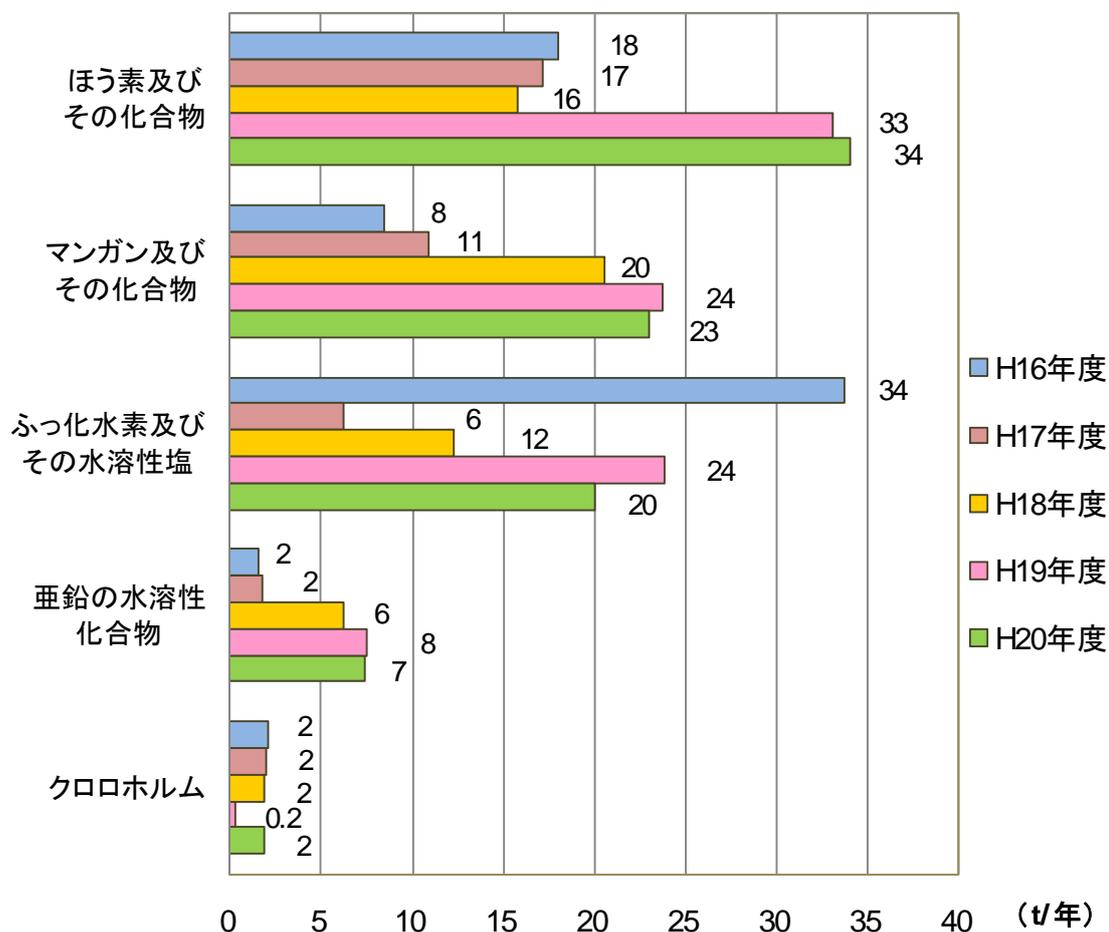
第1位物質のほう素及びその化合物と第5位のクロロホルムについては、今年度増加しました。

届出排出量（公共用水域への排出）の多い上位5 物質

(単位:t/年)

H20 順位	物質名	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
1	ほう素及びその化合物	18	17	16	33	34
2	マンガン及びその化合物	8	11	20	24	23
3	ふっ化水素及びその水溶性塩	34	6	12	24	20
4	亜鉛の水溶性化合物	2	2	6	8	7
5	クロロホルム	2	2	2	0.2	2

届出排出量（公共用水域）の上位5物質の比較



<届出移動量（廃棄物としての事業所の外への移動）の多い上位5物質>

上位3位のマンガン及びその化合物、鉛及びその化合物、トルエンは増減しています。銅水溶性塩（錯塩を除く。）は年々増加していますが、エチレングリコールは年々減少しています。

届出排出量（廃棄物としての事業所の外への移動）の多い上位5物質

(単位:t/年)

H20 順位	物質名	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
1	マンガン及びその化合物	397	452	594	444	308
2	鉛及びその化合物	366	335	272	231	270
3	トルエン	325	302	332	274	262
4	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	26	23	81	108	132
5	エチレングリコール	191	175	153	135	119

届出移動量(廃棄物)の上位5物質の比較

